

(2000年)の11月26日には自宅の近くで、吸蜜活動中の本種を確認している。

14. コムラサキ *Apatura metis*

1992年6月に自宅の庭で雄を目撃し、1993年の6月に雌を採集したのが、安乎町における最初の記録である(本誌 No. 38, 39)。その後は毎年のように発生を確認しているが、個体数は年によって大きな差が見られる。

15. ゴマダラチョウ *Hestina persumilis*

自宅の横に大きなエノキがあり、成虫は5月から8月にかけて見られるが少ない。

ジャノメチョウ科

1. ヒメウラナミジャノメ *Ypthima argus*

3月下旬から9月末にかけて見られ、個体数も多い。

2. ジャノメチョウ *Minois dryas*

6月中旬から9月にかけて見られ、個体数も多い。もともと少ない方ではなかったが、1980年頃から特に数が多くなったようである。これは、ススキの草原が多くなったことと関係があると思われる。

3. ヒカゲチョウ *Lethe sicelis*

5月から10月まで見られ、個体数も多い。

4. サトキマダラヒカゲ *Neope goschkevitschii*

第1化は3月末から6月初旬にかけて現れ、個体数も多い。第2化は7月から8月にかけて見られる。

5. ヒメジャノメ *Mycalesis gotama*

5月末から10月にかけて見られる。

6. コジャノメ *Mycalesis francisca*

5月から9月にかけて見られる。

7. ウスイロコノマチョウ *Melanitis leda*

1998年10月28日に、自宅近くで雄を採集しただけである(本誌 No. 48)。

8. クロコノマチョウ *Melanitis phedima*

安乎町で最初に採集したのは、1989年8月(本誌 No. 36)のことで、その後は次第に個体数も多くなった。夏型は6月下旬から現れ、秋型は9月ごろから12月まで見られる。3月から4月には越冬した秋型がよく見られる。

メンガタメクラガメの採集記録

堀田 久

メンガタメクラガメ *Eurystylus coelestialis* の淡路島における採集記録は、これまでのところ少ないようであるが、筆者は下記のように本種を採集したので、報告しておきたい。

1. 採集年月日 2000年8月1日 lex.

2. 採集地 洲本市安乎町北谷

なお、採集した個体は、タラノキの花上に止まっていたものであり、標本は筆者が保管している。

(ほりたひさし)